



# 教育指導課便り

函館市教育委員会  
学校教育課教育指導課

平成24年3月6日発行  
VOL.13

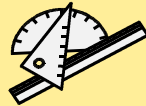
## 「確かな学び」の実現に向けた取組について ～第2回教育課程研究協議会終了～

2月7日、各学校の教務担当者が一堂に会し、第2回教育課程研究協議会を開催しました。全体会では、アプローチを具現化した取組例として、函館市学力向上研究モデル校の鍛神小学校から「組織的な授業改善」をテーマに、深堀中学校から「学びのフィールド」と「生活習慣・学習習慣の形成」をテーマに、自校の取組について発表していただきました。

その後の小中別グループ協議では、第1回で発表し合った「アプローチ『確かな学び』の実現に向けた取組」にかかわる各校の取組について、今年度の成果と課題を交流しました。

今年度の取組で効果を上げている事例には、右のような共通点がありました。また、1年間の取組から浮き彫りとなった課題から、「次年度に向けた取組のヒント」として、次の例をお示ししました。

- ・学習常规の徹底
- ・宿題の工夫
- ・学習課題の設定
- ・学習活動の工夫
- ・生徒指導を基盤とした学習環境の整備
- ・客観的な評価に基づく子ども理解



### 効果を上げている事例

- 全校体制で共通した内容で取り組む
- 継続して取り組む
- 子ども・教職員・保護者の振り返りを実施し、成果や課題を明らかにする
- 成果や課題から次の取組を工夫する
- 家庭や地域と連携する
- 実践→検証→改善のサイクルを活用する



今年度の各校の実践は、子どもの実態を踏まえた実効性の高いものが多く、「次年度はさらに取組を広げ、全校で実施する計画を立てている」とか「今年度は、一定期間実施したが、次年度は学期1回取り組む予定」などの声が聞かれました。今後は、各校でこうした実践を結び付け、より効果的な取組とするよう充実を図っていただければ幸いです。

お忙しい中、参加いただき、ありがとうございました。

## 学校相互の連携や交流のために④

学校間の連携や交流を有効に活用し、「確かな学び」を実現しましょう。

例えば…

- 学校間の情報交換によって、課題を共有するとともに、連携の視点を明らかにします。

- ・中学校区の学校間で相互に授業を参観する機会を設定する。
- ・小中学校合同で共通のテーマで研修会を行う。
- ・「学習のきまり」や「家庭学習の手引き」を交流し、育てたい力の共通理解を図ったり、共通の内容で設定したりする など

- 互いに指導法や学習活動などを理解することで、円滑な連携や接続を目指します。

- ・異校種の教員による交換授業や出前授業を実施する。
- ・相互の教育課程にかかわる情報交換を行う。 など